



# たんぽぽ

第2号 令和 3年9月

社会福祉法人 岩手愛児会  
たんぽぽ病児保育所  
〒020-0102  
盛岡市上田字松屋敷11-14  
Tel 019-662-5619  
携帯 070-1736-3793  
(登録/LINE予約できます)



<虫刺され> 蚊に刺された時の反応には個人差があります。即効型は、刺された直後に痒くて腫れるけど数時間後には腫れもひいてそのうち跡形もなくなる人、遅延型は、翌日から真っ赤に腫れて痛みや痒みが2週間近く経っても治まらない人もいます。蚊に刺されてアレルギー反応で全身にじんましんが出たり発熱したり痺れたり、人によっては死に至るほどの重症になることもあります。

生まれて初めての夏秋を迎える赤ちゃんの場合は、蚊に対するアレルギー反応の有無を注意しなければなりません。

- 蚊・・・どこでも生息。痒み発疹。即効型と1~2日後の遅延型反応がある。
- ブユ・・・高原、山の渓谷沿いに生息。半日ほどで発赤、しこりのある発疹と強い痒み。
- アブ・・・牛、馬のいる牧場などに生息。強い痛みと腫れ、痒み、微熱がでることもある。
- ノミ・・・イヌ、ネコに寄生。庭や公園にも生息。1~2日後に発疹、痒み、水ぶくれができることもある。
- イエダニ・・・ネズミに寄生。脇腹や太もも内側が刺されやすい。半日~1日後に発疹と強い痒みがでる。
- クモ・・・草むら。痛み腫れ。毒グモの場合は激痛とリンパ節の腫れ、呼吸困難になることもある。
- ムカデ・・・落ち葉、石の下、鉢の下などに生息。激痛とシビレ、赤く腫れ、意識消失、血圧低下、ショック。
- ハチ・・・野外活動で刺されやすい。強い痛み、赤く腫れ、一度目は治まる。二度目以降はアレルギーを起しじんましん、血圧低下、意識消失などのショック症状がでることがある。
- 毛虫・・・小さな発疹が密集して赤く出て痒みがある。搔くとじんましんの様に広がる。毛虫の側に近寄ると毛虫から離脱した毛が飛んできて刺されることもある。



以上のような色々な虫たちが生息しています。夏の終わり頃になると生き残るためにタンパク源を求めて虫もしづとい。刺されないように予防しましょう。

- 予防するには一肌の露出を少なくする。
- 虫除けスプレー (5時間程の効果で汗をかいたら追加スプレー必要)・・・ハチに効果ない
  - 蚊取り線香や電気式蚊取り器 (煙の殺虫成分で蚊が弱い)・・・換気しましょう。
  - ※線香の煙で喘息やアレルギー体質の場合は、咳がでたり吐き気めまい等が起こるケースがあるので注意して使用しましょう。

- 刺されたら→気づき刺された後でも冷静に対処しましょう。慌てずに。
- ①患部を流水で洗いながし清潔にする。
  - ②毛虫やハチに刺された場合、ガムテープ (粘着テープ) や毛抜きを使い皮膚の毒針をそと取る。
  - ③氷水などで患部を冷やす。搔かずガマンして炎症を広げないようにしましょう。
- 治療法→ステロイド外用剤 (クリームや軟膏) が用いられます。皮膚の炎症を抑えることを目的として早めに塗ると治まります。子どもの場合、痒いと搔きむしるので「とびひ」を引き起こす恐れもあります。
- ※焼けるようにヒリヒリしたりジリジリ痛い時やじんましん (発赤や腫れが広がる) がある場合は、受診しましょう。痒くて搔いて炎症が悪化しないように早めに治療して、炎症を最小限に止めましょう。



子どもの良い関係の経験を増やす

## ~子どもと養育者の関係対応で生きにくくならないために~

子ども自身や他人に危険や迷惑が及ばない限り自由に要求を示して良い事を子どもに体験してもらう!

- ① 子育て介入初期では甘えさせる際に否定や拒否がない関わりを基本姿勢にする。
- ② 要求甘えが過剰な場合でも、すぐに拒否をせず、交渉をして代わりになる満足を与える。
- ③ 危険なことや迷惑な行動は制限し、その場で明確に指導する。

### ♡ ほめる関わり ♡

ほめる事ができる状況を意図的に保護者が作る。→[努力したことに対して]ほめる。ほめまくる。(ほめられることで、自律をはぐくむ、自分の努力で自分や周囲をコントロールしている感覚を育てる)

- ・ 子どもは何時でも周囲からの賞賛を求めている。
- ・ 保護者にとっては当然のことでも、子どもにとっては自分の能力を最大限に生かした生果である。
- ・ どんな場合でも子どもが成功をおさめた時には、その場でほめることが基本となります。

### ♡ 教える関わり ♡

子育て介入初期では、子どもの自我機能が脆弱なため、母親が子どもの補助自我として機能することが必要です。子どもが自分で周囲の状況判断して行動できない内は、母親が子どもと一緒に状況判断を行って対応を考える。子どもの考えや判断を尊重して、一方的に母親の判断を押しつけない事が重要となります。そして、自分の判断が認められることで自信につながります。

### ♡ 「教える」から「考えさせる」へ ♡

「教える」関わりが安定したならば、必要な情報を提供しながら子どもの考えや判断を促してそれを尊重し、行動を促す認める関わりを行う。やがて、適切な判断や行動ができたならば誉めて賞賛し、次なるステップアップで別な新しい状況への対応について切っ掛けを作って体験させる動機付けを行う。

子どもは遊びを通して繰り返し成長していきます。できたことをほめられて自信を持って成功体験を積み重ねて行きます。叱責されて育つと暗い影を家庭に落とすことになり萎縮して自我を伸ばせなくなり笑顔が消えてやる気元気が芽生えなくなってしまう。

感情的、理不尽な誤った対応により、子どもと養育者の関係が生きにくくなくなってしまうことがあります。親子ファミリーが仲良く安心して健やかに暮らせますように。暮らしの中でちょっとした丁寧な対応。

例えば) カレンダーに、今日できたことを誉めてシールをご褒美として与え子ども自身に貼ってもらう。毎日がシールでいっぱいになった一ヶ月を振り返る月替わり、スゴいできたよシール満杯は親子の励みにつながる事まちがいない!

まず、一ヶ月チャレンジしてみましょう。ご家庭でのルールトレーニングにどうでしょう。子どもの試行錯誤に肯定的に対応し、考える習慣を身につけさせ、自立を目指しましょう!

### ♡ しかり方・パニック時の対応のコツ ♡ (仕方ないけど放っておけない都度の対応が大事)

- ◎すぐにその場で具体的に言葉で表現してしかる。
- ◎理由は不要のこともある。「マナーだからです」
- ◎失敗から学ぶ。ことの振り返り(フィードバック)をする。
- ◎パニック時は・・・本人と周囲の安全を確認して、声かけ(刺激)せず、適度な無視(無効化)を行う。
- ◎落ち着いたら・・・座らせ(抱っこ)、話を聞き、振り返りを行う。
- ◎反社会的行動の場合はお巡りさん(警察)を利用する。大人が頭を下げる姿を見せる。

